

雪氷の生態学 (10)
尾瀬ヶ原における水・物質循環に関する総合研究

2017年1月20日 (金)

[北大低温研研究棟 2階会議室]

- 9:30-9:35 所長挨拶
江淵直人 (北海道大学低温科学研究所)
- 9:35-9:40 「集会にあたって」
野原精一 (国立環境研究所)
- 9:40-10:10 「釧路湿原への人為的影響の緩和を目的とした未利用農地の再評価」
亀山哲 (国立環境研究所)・佐久間東陽 (茨城大学)・小野理・木塚俊和・三上英敏 (北海道環境科学研究センター)
- 10:10-10:40 「釧路湿原周縁にみられる湧水辺植生」
佐藤雅俊 (帯広畜産大学)
- 10:40-11:00 「水域における水系腐植物質の動態に対する光と微生物の寄与」
成岡知佳 (東邦大学)
- 11:00-12:00 「温暖化による高地湿原生態系変遷の将来予測と管理方策の検討」
岩熊敏夫 (函館工業高等専門学校名誉教授)
- 12:00-13:00 休憩
- 13:00-13:30 「湿原地形と陸水環境の変遷に関する研究」
野原精一 (国立環境研究所)
- 13:30-13:50 「鉄酸化微生物による谷戸生態系の非光合成型一次生産」
櫻井薫・楊 宗興 (東京農工大学)
- 13:50-14:10 「彩雪中にみられる氷雪性緑藻類の不動細胞の多様性」
松崎令 (国立環境研究所)
- 14:10-14:40 「尾瀬ヶ原池塘における水系腐植物質」
千賀有希子 (東邦大学)
- 14:40-15:00 休憩
- 15:00-15:30 「融雪期の尾瀬ヶ原で見られる雪氷無脊椎動物群集の特徴」
大高明史 (弘前大学)・木村直哉・中村剛之 (弘前大学)・鳥居高明 (いであKK環境創造研究所)・福原晴夫 (河北潟湖沼研究所)
- 15:30-16:00 「尾瀬における水生生物研究の現段階と課題」
福原晴夫 (河北潟湖沼研究所)
- 16:00-17:00 「総合討論」岩熊敏夫 (函館工業高等専門学校名誉教授)

<問合せ>

研究集会代表：野原精一 (国立環境研究所)

世話人：福井 学 (北海道大学低温科学研究所)

my-fukui@lowtem.hokudai.ac.jp